

## 卒後教育講座

### DXで変貌する医療に対応した一歩先の薬剤師を目指して

高齢化の進展による在宅医療の推進、医療の高度化・多様化、電子処方箋やAI、ビッグデータの活用等の社会的要請に応えるため、薬剤師には臨床実践能力や高い専門性の獲得・向上が求められます。今年度の卒後教育講座は開催回数を増やし、ダイナミックに変化する薬剤師業務に対応するための最新のテーマを盛り込みました。オンラインでの受講も可能です。

開催日	10:00-11:30	12:30-14:00	14:15-15:45
2023年5/21(日)	脳卒中診療における薬物療法	オンライン服薬指導とファーマシューティカルコミュニケーション	心不全患者の包括的管理
2023年6/18(日)		臨床推論の考え方、活かし方	～あなたが職場で倒れたら～ 確実な急変対応を共有しよう！
2023年7/9(日)	脳死患者の臓器提供を見据えた全身管理	2型糖尿病における薬物療法	ビッグデータを活用した医療薬学研究
2023年8/27(日)		医療用添付文書の活用～IFやRMP、審査報告書でしか分からないことは～	医療DXと薬剤師の業務

■日程：2023年5月21日(日)、6月18日(日)、7月9日(日)、8月27日(日)

5月・7月 10:00～16:00 6月・8月 12:30～16:00

■場所：京都薬科大学躬行館T31講義室 および オンライン配信

■定員：200名(対面) ■研修単位(G24)：計10単位 ■参加費：12,500円

■申込受付期間：2023年3月1日(水)～5月8日(月)

## 漢方講座

### 漢方治療の臨床力を身につけよう

京都漢方研究会との共催で、漢方治療の基礎から臨床実践まで4回コースで学びます。漢方の知識や経験のない薬剤師にも理解しやすいプログラムですので、一から漢方を学びたい方にもお勧めします。オンラインでの受講も可能です。

開催日	10:00-11:40【基礎】	12:30-14:10【薬物】	14:20-16:00【臨床】
2023年9/10(日)	セルフメディケーション領域の漢方－めまい－	健康管理を担う薬剤師のための漢方講座	<日程調整中>
2023年10/8(日)	セルフメディケーション領域の漢方－排尿異常－	認知機能の維持・改善に有効な生薬・漢方薬について(仮)	・フレイル・サルコペニアと循環器領域の漢方
2023年11/12(日)	セルフメディケーション領域の漢方－胃腸障害①(食欲不振・胸焼け)－	生薬の選品と鑑別(4)	・不妊治療における漢方の役割
2023年12/17(日)	セルフメディケーション領域の漢方－胃腸障害②(胃痛・腹痛)－	知っておきたい漢方配合生薬(その3)	・眼科領域の漢方

■日程：2023年9月10日(日)、10月8日(日)、11月12日(日)、

12月17日(日) 10:00～16:00

■場所：京都薬科大学躬行館T31講義室 および オンライン配信

■定員：100名(対面) ■研修単位(G24)：計12単位 ■参加費：20,500円

■申込受付期間：2023年7月12日(水)～8月28日(月)

## eラーニング講座

### 時間と場所に縛られないマイペース受講

本年度の卒後教育講座と漢方講座をインターネット配信します。収録後、順次コンテンツを追加していきます。2022年度の卒後教育講座と漢方講座も再配信します。配信期間中、何時でも何度でも視聴でき、効率的に学習していただけます。(新規22コンテンツ予定)

■配信期間：2023年6月1日(木)～2024年2月29日(木)

■配信数：48コンテンツ(予定) ■研修単位(G24)：48単位(予定)

■参加費：15,500円

■申込受付期間：2023年4月1日(土)～2024年2月22日(木)

#### 【重要】

COVID-19の状況により、開催日、定員、実施方法等に変更が生じる可能性があります。最新情報、詳細は必ずホームページ(<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>)をご確認ください。

## フィジカルアセスメント講座<入門コース>

### 多職種連携の共通言語はフィジカルアセスメント！ ～患者状態や家族背景を共有しよう～

多職種連携チーム医療の中で、薬剤師のフィジカルアセスメント目的(薬物療法の副作用発見、効果判定)は、医師、看護師とは異なります。本講座では実症例を用いて問診、検査から診断、治療の考え方を学びます。薬剤師が医師の処方設計の過程を理解することで、安全で最適な薬物治療を目指した、よりの確な処方提案を可能にします。

2023年4/9(日) 10:00～16:00	1.フィジカルアセスメント総論 医師・看護師・薬剤師のフィジカルアセスメントの目的を知ろう 2.疾病の基礎 患者が示すバイタルサインと症候から処方を提案してみよう
----------------------------	--

■日程：2023年4月9日(日) 10:00～16:00

■場所：京都薬科大学躬行館T31講義室 および オンライン配信

■定員：100名(対面) ■研修単位(G24)：3単位 ■参加費：5,500円

■申込受付期間：2023年2月8日(水)～3月27日(月)

## フィジカルアセスメント講座<実践コース>

### 薬剤師だから気付くフィジカルアセスメント推論力 ～服薬後のMy患者に責任を持つために～

バイタルサイン収集手技習得、アセスメント実技実習、活用実例紹介により、明日からの実践に繋がります。講師に医師、看護師、薬剤師(病院、薬局)、救急救命士を迎えて実施します。多職種の中で薬剤師としてのアセスメントの重要性を実感してください。

2023年4/23(日) 10:00～16:30	1.(講義・実習) バイタルサイン情報収集スキル習得 2.(ランチョンミーティング) ※軽食付き 3.(講義・SGD) 症例検討を行うにあたっての基礎知識 症例検討の実践 4.(実例紹介) 明日から実践できるフィジカルアセスメント活用 病院薬剤師、薬局薬剤師
-----------------------------	--

■日程：2023年4月23日(日) 10:00～16:30

■場所：京都薬科大学臨床薬学教育研究センター

■定員：20名(薬剤師限定) ■研修単位(G24)：3.5単位

■参加費：10,500円

■申込受付期間：2023年2月8日(水)～4月10日(月)

## 実務支援セミナー

### 注射薬の無菌混合調製～がん化学療法と在宅医療～

注射薬調製に必要な基本的知識を学び、クリーンベンチや安全キャビネット内で注射薬の取扱い、無菌操作、輸液・TPNの混合調製手技等を実習します。さらに、がん化学療法の実践、注射薬の安全管理上の注意や投薬後フォローの重要性など一歩踏み込んで考えます。地域連携薬局を目指す薬局・薬剤師は、この機会を是非ご活用ください。同日に2回開催しますのでご都合のよい時間帯をお選びください。

動画の事前視聴	1.(導入講義) 注射薬無菌混合調製に必要な基本的知識 がん外来化学療法の実践
2023年2/25(日) 9:30～13:00 または 13:30～17:00	2.(実技実習) 衛生的な手洗い、手指消毒、帽子・マスク・手袋・ガウンの装着、注射薬混合調製(アンプル、バイアルの取扱い、薬液採取、陰圧操作)、配合変化の実態、高カロリー輸液混合調製 3.(情報共有・講評) 事前動画や実技実習に対する質疑応答、自施設における注射調剤の問題点や課題の共有

■日程：<午前の部>2024年2月25日(日) 9:30～13:00

<午後の部>2024年2月25日(日) 13:30～17:00

■場所：京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター

■定員：午前・午後 各20名(薬剤師限定)

■研修単位(G24)：3単位 ※講義動画の事前eラーニング1単位含

■参加費：10,500円

■申込受付期間：2023年12月6日(水)～2024年2月12日(月)

●受講対象：薬剤師、薬系大学卒業者、および医療従事者(一部、薬剤師限定)

●申込方法：・ホームページよりお申込みください。  
・定員に達していなければ、申込受付期間終了後でもお申込を受付できますので、お問合せください。